

2013年 6月



Digo
Vintage

独自技術を用いて
インディゴで染められた合繊素材
『ディーゴ・ビンテージ™』
の開発と展開について

小松精練株式会社（本社：石川県能美市 社長：池田哲夫）は、世界に冠たる先端ファブリックメーカーを目指し、これまでも市場の声に耳を傾けながら、驚きと感動ある素材開発を進めてまいりました。このほど、独自技術を用いて合繊素材にインディゴで着色した高感性なファブリックを完成させ、『ディーゴ・ビンテージ™』のブランドで、2013年6月より本格的に販売を開始いたします。

『ディーゴ・ビンテージ』開発経緯

小松精練は2002年4月に、天日干し風のナチュラルな表情を持つファブリック「ビンテージ織意」を発表して以来、これまでお客様の声をもとに数多くの「ビンテージ織意」シリーズを開発し、市場で高い評価を得て順調に販売拡大を図って参りました。

そしてこの度、当社は日本古来の伝統的な“藍染め”を合繊素材に表現しました。「藍染め」の藍色は昔から天然染料の代表色として、人々の生活の中に深く浸透してきた色ですが、その領域はデニムを除いては一部の天然繊維の趣向的な範囲にとどまっております。小松精練は藍の独特の優しい色合いに着眼して、既存の天然繊維による「藍」のジャンルにとどまらないファッション、スポーツを中心とした、あらゆる分野に合繊素材で市場を創造して参ります。

■商品特長

- 1) 合繊のインディゴ染です。
- 2) 従来の天然繊維との比較において摩擦堅牢度が向上しています。
- 3) 当社が展開するあらゆる高次後加工技術との組合せが可能です。
- 4) 従来の合繊素材の染色（分散染、酸性染）では得られることの出来なかった日本古来の伝統的な独特の優しい色合いの藍染めです。
- 5) 洗濯耐久性に優れ、50回の家庭洗濯後でも風合いや表情が損なわれません。又、これとは逆に、既存の天然繊維のインディゴ染と同様に自然な色落ち感も楽しめるバリエーションも展開可能です。

■技術内容

- 1) インディゴ染料の酸化と還元を複数回繰り返すことにより、染色堅牢度の向上を図った素材です。
- 2) インディゴ染色の為に当社オリジナルの機械設備を、新規に開発設置したものです。

■設備投資

- ・投資額は独自設計した特殊染色機中心に約1.2億円です。

■特許出願

- ・関連特許を1件申請済です。

■展開用途

- ・ファッション衣料
- ・スポーツ衣料
- ・インテリア、寝具関連 その他

■販売計画

- ・初年度 10万m 1.0億円
- ・3年後 50万m 4.0億円

<本件に関するお問い合わせ>

小松精練株式会社 広報課 TEL：0761-55-8070

■ 『ディーゴ・ビンテージ』の製品写真

